

第10回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	令和2年6月23日(火)			
開催時間	開 会	午前10時	閉 会	午前10時50分
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市区長会 伊那中央行政組合 伊那市社会福祉協議会 伊那商工会議所 箕輪町商工会 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那バス(株) ジェイアールバス関東(株)中央道支店 (有)白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会 南信支部 伊那市観光協会 NPO 法人子ども・若者サポート はみんぐ 伊那市保育園保護者連合会 上伊那PTA連合会 信州大学 公募	坂井 邦次 宮原 文彰 矢澤 秀樹 小林 旬子 向山 淳 中川 博夫 小池 良夫 原 武志 福澤 信義 宮本 昭一 白川 光朗 大村 裕一 伊藤 隆博 戸枝 智子 澤西 光子 酒井 裕司 鈴木 純 杉山 祐樹		
欠席者	箕輪町区長会 南箕輪村区長会	北原 敏道 越後 幸益		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局企画振興課長	下條 伸彦		
出席した事務局職員	伊那市企画部長 伊那市企画部地域創造課長 箕輪町企画振興課長 南箕輪村地域づくり推進課長 伊那市企画部企画政策課長 伊那市保健福祉部子育て支援課長 伊那市総務部総務課長 伊那市商工観光部産業立地推進課長 伊那市総務部秘書広報課広報広聴係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長	飯島 智 唐澤 直樹 毛利 岳夫 田中 俊彦 重盛 巧 網野 喜彦 飯島 伸一 平澤 浩 池上 政史 田中 久 伊藤 貴 小笠原 岳大		

	南箕輪村地域づくり推進課企画係長	山口 弘一郎
議 事	(1) 共生ビジョンに係る事業の実績報告について (2) 共生ビジョンの改訂について (3) 第2期共生ビジョンの策定について (4) その他	
配布資料	資料1 H31 共生ビジョン進捗状況について 資料2 空き家バンク利用実績 資料3 地域公共交通利用実績 資料4 子育て支援センター他利用実績 資料5 人材育成研修実績 資料6 産業振興部会実績 資料7 情報インフラ部会取組状況 資料8 伊那地域定住自立圏共生ビジョン【第5版】 資料9 第2期共生ビジョンの策定について	

1 開 会

2 会長あいさつ

定住自立圏共生ビジョン協議会は今年度初めての開催となる。本日は共生ビジョンの具体的な取組事項について、取組内容の報告や実績、成果指標などの進捗状況の確認についての協議を予定している。また、今年度は第2期共生ビジョンの策定を予定しておりますのでご意見いただきたい。

3市町村の住民の皆さんが住みやすい地域となるよう活発な議論お願いするとともに、円滑な議事の進行にご協力をお願いしたい。

3 会議事項（進行：坂井会長）

（1）共生ビジョンに係る事業の実績報告について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料1～7により説明）

会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

意見なし

（2）共生ビジョンの改訂について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料8により説明）

会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委 員： 改訂内容のKPIについてコンテンツ数とはケーブルテレビの契約者数か、それとも番組数か。

事務局： コンテンツ数は現在3市町村で文字放送を行っており、その文字放送におけるコンテンツ、番組の数である。

（3）第2期共生ビジョンの策定について

- 会 長： 事務局から説明をお願いします。
- 事務局： (資料9により説明)
- 会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。
- 委 員： 第2期の策定にあたって、地域での農業振興の視点があるようなら入れていただきたいかがいかか。
- 事務局： 具体的な取り組みについては決まっていないが、定住自立圏の事業については必要に応じて加えていきたいと考えている。3市町村で協議をして検討したい。
- 委 員： 共生ビジョンを見ると製造品出荷額は3500億円に対して農産物販売額は90億円と農業も大きな金額となっている。ぜひ検討いただきたい。
- 委 員： 地域公共交通について、バスの運行に関して、運営上何人くらいが乗車すれば自立して運行が可能か。
- 事務局： 公共交通については国から特別交付税の支援がある。当地においては運賃収入のみでは運行が困難であるため、8割の特別交付税の措置により運行している。試算しているわけではないが、自立は困難なのではないか。
- 委 員： 私たちは学校に行けない、行くことが困難な子供たちを支援している。学校外の居場所については県が上伊那地域子どもプラットフォームとして支援を始めている。そういった子供の居場所について、小学校区に一つくらい子供が安心して生活できる学校外の場ができればよいと思う。また、孤立しがちな親についても支援ができるような取り組みについても検討いただければと思う。伊那市では旧消防署を第三の居場所として整備している。この場所を拠点に情報を共有していければと思う。
- 事務局： 居場所づくりや貧困家庭への対策については各市町村取り組んでいるところであるが、それぞれの地域の課題についても共有しながら取り組めるよう部会で調整していきたい。
- 委 員： 本協議会として可能であれば子ども委員の選出も考えてみてはいかがか。
- 事務局： 今後検討していきたい。
- 委 員： 各市町村の政策の中で、コロナの影響を受けて人やお金の流れが止まってしまった。地域の魅力を再発見する中で、今まで以上にまったく新しい視点で、3市町村の結びつきを強化する取り組みが必要ではないか。また、これからの5年間の事業についての財源は変更ないのか。
- 事務局： 新たな取り組みは今後検討していきたい。財源については国の制度が変わらなければ現状のとおりか。また、中心市以外の財源を増やすよう要望している。
- 委 員： 空き家バンクは個人を対象にしているが、コロナ禍においては在宅ワーク、テレワークが増えている。また、都心からの本社機能の移転が検討されているとのことである。事業所や法人についても対象とできるよう運用したほうが良いのではないか。
- 事務局： 要綱を設けて運用している。今後検討していきたい。

(4) その他

特になし

アドバイザー：第1期については重点施策を絞って実施していたと思うが、国の要綱の中の3つの視点に合う事業は共生ビジョンの中に盛り込むことは可能である。今回、委員から意見が出た、農業や子育て、産業などは盛り込むことも可能と思われるので、今後議論をお願いしたい。また、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業を盛り込んでいただければと思う。

4 その他

委員： 3市町村の担当者が集まっているのでお願いしたい。今後発行するプレミアム商品券について、商圈が行政上の境界と全く異なる。南箕輪村は商店街がなく、普段は伊那市や箕輪町で買いものをしている。また、南原は伊那市とほとんど変わらない。行政の線引きでプレミアム商品券をやっても効果が表れにくい。3市町村で共同してやるということになれば、圏域で使えるものを考えたほうが良いのではないか。

事務局： 3首長の連絡協議会の会長である白鳥伊那市長についても、商圈や圏域で考える必要があるという話が出ている。今後、ビジョン協議会の中でも議論いただきたいし、意見はそれぞれの市町村の担当者に伝えたい。

5 閉会